

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	YK	学部・学科	国際商学部
学 年	3	派遣国	スウェーデン
派遣大学	オレブロ大学		
期 間	2024 年 9 月 2 日～2025 年 6 月 5 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (70,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

滞在先 2

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 (7 人部屋)					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (60,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30,000 円	自分の食費やお菓子、生活用品を含む

学用品購入費	0 円	教科書は図書館かオンライン
交通費	2,000 円	バスを使う時もあるが基本徒歩
交際費	10,000 円	外食等
その他	50,000~80,000 円	主に旅費

合計

42,000 円

(国外旅行費用を除く) *概算で記録してく

ださい。

(2) 治安状況・危険地域など

落ち着いた雰囲気の中で、夜道を一人で歩いても危険を感じないほど安全。留学生が襲われたわけではないが一度銃撃事件はあった。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(93,080) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	海上旅行保険		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(93,080) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (オレブロ)

スウェーデンで七番目に大きな都市。国のほぼ中心に位置しており、色々な都市にアクセスしやすい。必要なお店は基本的に街にそろっており、学校や寮がある場所から徒歩や自転車で行くことができるためこじんまりとした便利な街。

【学業編】

1. 大学情報

大学	オレブロ大学	所在地	オレブロ
最寄空港	アーランダ空港	空港からの距離	189 km
空港⇄大学	(バスまたは電車) *移動手段		
学生数	約 16000 人	留学生数	正規留学を除き約 200 人
学部	Behavioral, Social and Lugal Sciences Business Health Sciences Hospitality, Culinary Arts and Meal Science Humanities, Education and Social Sciences Medical Sciences Music, Theatre and Art Science and Technology *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	留学生の団体に所属し、英語で開講されている授業なら学部を問わず履修することができた。 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業がなければ自由時間	授業（二時間から三時間）	授業がなければ自由時間	授業（二時間から三時間）	授業（二時間から三時間）
午後	授業・グループワークがなければ自由時間	授業（二時間）	授業・グループワークがなければ自由時間	授業（二時間）	授業・グループワークがなければ自由時間

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業・グループワークがなければ自由時間	授業（二時間から三時間）	授業・グループワークがなければ自由時間	授業（二時間から三時間）	授業（二時間から三時間）
午後	授業・グループワークがなければ自由時間	授業・グループワークがなければ自由時間	授業・グループワークがなければ自由時間	授業・グループワークがなければ自由時間	授業・グループワークがなければ自由時間

3. 履修内容

科目	Sustainability and organization theory		
履修期間	9/2~9/30	単位数	7.5ECT
授業内容／形態	持続可能な組織づくりや、環境問題に対する企業の社会的責任について、様々な文献をもとに学んでいく。 教授がスライドを使って進める一斉授業と、事前に指定された文献を基にディスカッションを行う授業と二種類ある。週二回の授業で一方が一斉授業、もう一方がディスカッションという形になっている。最終課題はライティングで、約一週間前に課題が公開されレポートを書く。今回の課題は一つ目が教科書を基に語句の説明と要約、二つ目は自分で企業を一つ選択しそれについてケーススタディを行う。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	産業組織論	
	単位数	2	
	担当教員	大谷秀平	

科目	Marketing of sports and events		
履修期間	9/2~11/5	単位数	7.5ECT

授業内容／形態	スポーツやその他のイベントにおけるマーケティング戦略やステークホルダーについて学ぶ。 最初の一か月でレクチャーを行い、教科書に沿って学習する。次の一か月はグループに分かれて二回プレゼンテーションを行う。内容は自分たちが選んだイベントの実態調査と、改善策の提案。プレゼンではスクリプトを見ることが禁止されている。	
成績	D	
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群
	単位数	2
	担当教員	

科目	Swedish culture and language I		
履修期間	11/12~1/19	単位数	7.5ETC
授業内容／形態	基本的な日常会話をスウェーデン語で行えるようになることを目標としている。 週二回の授業で、うち一回は対面で教科書を進めていき、一回は zoom でスウェーデンの文化や歴史についての講義が英語で行われる。対面の授業はいきなり会話から始まるので予習をしないと授業についていくのが厳しいが、新しい言語を学ぶ楽しさに触れることができる。		
成績	E		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	International logistics		
履修期間	11/12~1/15	単位数	7.5ETC
授業内容／形態	国際的な物流システムや現状・課題について具体例を交えながら学ぶ。 週二、三回対面の講義で教科書に沿って進めていき、最後に現状を分析してグループごとに互いに評価し合い、プレゼンをする。グループワークが基本で、みんなで協力して講義に取り組んでいる。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Global Communication		
履修期間	1/21~2/19	単位数	7.5ETC
授業内容／形態	グローバルコミュニケーションについての基礎的な知識を学び、また政治的、経済的、技術的、文化的観点からマスメディアの国際的な発展にも焦点をあてる。 スライドを用いて教授が講義するレクチャーと、与えられた事前課題をそれぞれ持ち寄り、相手の成果物と自分の成果物をお互いに読み合って質問したりそれに答えたりといった生徒主体のセミナーと大きく二つに分けられる。生徒は講義に対する質問や自分の意見を素直に述べおり、生徒と教授との距離がとても近い授業のように感じた。二人の教授が担当しており、Zoomであってもグループディスカッションが行われたりと、意見交換の機会が必ずと言っていいほど設けられていた。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	International management		
履修期間	2/25~4/30	単位数	7.5ETC
授業内容／形態	グローバルな環境で働くにおいて重要なことを、マネジメント面で留意する点や実際に行われていることなど通して学ぶ。 教授がスライドを用いて講義するレクチャーと、生徒が主体的に参加／発表をするセミナーに大きく二つに分かれている。この授業は二か月かけて終わるようにプログラムされていて、最初の一か月はレクチャーのみで、次の一か月に大きなプレゼンが二つという構成になっている。		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Culture and leadership in international business		
履修期間	2/25~5/3	単位数	7.5ECT

授業内容／形態	インターナショナルな環境でマネジメントをする人の行動のポイントや、それを文化的・倫理的観点から、教科書の理論をもとに紐解いていく。International Management 同様、二か月でコースが終わるように構成されていて、最初のひと月がレクチャー、次の一か月に 3 つプレゼンテーションがある。ペーパーの提出もあり、グループワークが多い。	
成績	E	
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群
	単位数	2
	担当教員	

科目	Strategic brand management		
履修期間	5/6~6/4	単位数	7.5ETC
授業内容／形態	企業のブランディングについて教科書に沿って学んでいく。6 回のレクチャーとプレゼンテーション、ペーパー提出、最終試験がある。プレゼンとペーパー提出はグループ課題で、1 グループ 3 人で行う。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

日本の外に出るのは今回の一年間の交換留学が初めてで、はじめは不安だらけだったが、よくも悪くも想像を上回る充実した留学生活を送ることができた。

まずは学業について。スウェーデンの大学は一回2, 3時間の授業が週2, 3回ほどあり、一か月で一つの講義が終わるように組まれている。授業回数が多い講義は授業内で完結するものが多く、授業回数が少ない講義は授業外でのグループワークなどが多い印象。日本の大学と違い自分の時間が多く毎月変則的であるため、自分で計画を立てて留学生活をデザインすることができる。

一つの授業に集中して取り組めるこのプログラムはとてもユニークで、とても自分に合っていると感じた。

次に生活面について。気候は日本とは全く違って、日照時間の長さとは不安定な天気にはなかなかならなかった。今年は特に暖冬だと現地の人が言っていたがそれでも冬の寒さは厳しく、15時には日が落ちて真っ暗なこともあった。曇りが続くと鬱まではいかなかったが何となく気分が落ちて無気力になることも。その分晴れの日を思いきり外で楽しんだり、家の中で快適に過ごす工夫をしたりとスウェーデン人の暮らし方から学ぶことはたくさんあった。

他の国で学ぶ留学生の特徴の傾向がどうなのかわからないが、オレブロ大学に来ている人は自然が好きで、落ち着いた人が多いと感じた。楽しむときと集中するときのメリハリがしっかりしていて、親切的な留学生ばかりだった。多様な国から留学生が集まっていて、国ごとにとってもカラーがあって、彼らとの生活はとても刺激的で言語だけでなく文化の違いを始めとした様々な学びを得ることができた。スウェーデン人と関わる機会もあり、人との距離感や文化が少し日本人に似ていると感じることも多々あった。

一年間の交換留学を通して、スウェーデンを選択したことは自分にとって最善だったと思う。学校のシステム・留学生の受け入れ態勢からスウェーデンの文化・暮らしのスタイルまで、スウェーデンでの生活を続ければ続けるほどここでの暮らしが好きになり、毎日新しい魅力を見つけることができた。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学生活を通して得た経験・スキルは主に、多様性と語学力である。様々な国から学生が集まり一緒に生活した中で、それぞれの国の文化や歴史を学んだ。特にビジネス系の授業には必ずといっていいほどグループワークがあり、英語を第一言語としない多国籍なグループメイトと協力して課題を行う経験から、様々なバックグラウンドを持つ人たちと一緒に活動することの大変さと得られる利益の大きさを実感した。将来グローバルな人々が集まる企業で働く機会があれば、この経験を役立てたい。日本人同士の対人関係にも活かせることがたくさんあるため、ゼミや、部活、バイトなど集団における振る舞い方においても学びを活かせると思う。また、帰国してからもゼミや授業で英語を積極的に活用し、できれば大学を卒業してからも英語を使い続けたい。また、見知らぬ土地で暮らす大変さやサポートしてくれる人たちのありがたさを強く感じたため、帰国してからは今度は自分が留学生をサポートしたいと思った。また、日本に来る留学生や外国人労働者が日本での生活に抱える悩みや課題とそれに対する日本人側の対応についても興味を持ったため、帰国してからはそこを深掘りしていきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

交換留学は大学生活のなかでもとても大きなイベントですよね。横浜市立大学は様々な留学プログラムや提携先が用意されていて自分に合う期間/国を選ぶことができます。留学先を選ぶ上では、自分が留学生活を通して何を学びたいのかの軸をはっきりさせ、それを達成することができるかどうかという視点で判断することが大切だと思います。ヨーロッパを選んでも英語を使って留学することはできるし、国や大学によって留学生活は全く異なります。自分の理想の留学生活を具体的に思い浮かべ、留学先についてしっかりリサーチすることで留学してから実際の生活を送って感じるギャップをできる限り減らすことができます。留学には時間とお金に加え、周囲からの十分な理解も必要です。準備は大変ですが、間違いなく人生においてとても貴重で有意義な時間を過ごすことができます。留学に少しでも興味がある学生はまずは情報を集めてみて、こんなにも留学の制度が整っている大学にいる環境を活用し、チャンスがあればぜひ新しい世界に飛び込んでみてほしいです。